

若い英語教員とつながる

～「寺島メソッド 英語アクティブ・ラーニング」をどう広めたか

宮城県 佐々木忠夫

1. 教員生活のまとめ

今年度は私にとって教員最後の年になります。(ただし、再任用2年がありますが。)教員1年目から寺島メソッドを使った授業をしてきました。そういう点では「寺島メソッド 英語アクティブ・ラーニング」は私にとっては英語教員のまとめのようなものです。

また、採用と同時に組合・宮城高教組に入りました。教員歴と組合員歴が同じです。そのころは、組合の会議に出ること、教育研究集会に出ることたくさん学ぶことができました。だから、周りの先生方を教研集会に誘って一緒に行きました。組合に育てられてきたと思っています。

しかし、この間宮城高教組は組合員が減り続けてきました。4桁いた組合員が3桁に、さらに500人を切りました。そして、教研集会も年に4回もあったものが、今では宮城高教組単独で行っているものが、2月に行われる「教育講座」だけになっていました。(今年度から9月に「秋の教育講座」を始まりましたが、それでも一番大きなものは2月のものです。)

組合員としてもまとめとして、組合員を増やすことで組合への恩返しをしたいと思っています。

その2つのまとめである「寺島メソッド 英語アクティブ・ラーニング」と「教育講座」をどのようにして若い教員に広めたかをまとめました。

2. 「外国語分科会」の状況

「外国語分科会」は私が若い頃は田村丞治先生、飯田清志先生など何人かの先生方が頑張っていたのですが、10年前に田村先生が退職なさり、飯田先生も仙台高等専門学校へ移動され、いつの間にか私だけになっていました。組合の中には英語の先生方もいらっしゃるのですが、なかなか参加していただけません。

また、宮城教職員組合(義務制学校)などと一緒に行っている「みやぎ教育の集い」では、「東北外国語教育研究サークル協議会」の先生方と一緒にいるが、当時は渡邊慎悟先生や菅野富士雄先生が元気でいらっしゃったことです。若い先生を連れて行くと、そのレポートに厳しい評価が下され、「二度と来ません」とよく言われました。おかげで、「教育講座」の方にも来てもらえない状態でした。

2011年2月に副委員長にならないかと言われ、自分でいいのかと迷いながらも引き受けました。1ヶ月後、あの震災がありました。自分でも何をやっているのかわからない状態で1年目は過ぎて行きました。3年間副委員長を務めました。そのうちの2年は教文担当でしたが、「外国語分科会」に人を組織することができませんでした。

昨年度から副委員長を降りて少し自由になり、退職を前にやらなければならないこととして、教育講座「外国語分科会」の立て直しをしようと思いました。それを組合員の拡大につなげて行きたいと思ったのです。

3. まずはつながりを

考えてみると、他校の若い英語の先生方とのつながりはほとんどないのです。部活動などで面識はありますが、案外教科が何なのか知らないことが多いのです。

そこで各学校で行われる研究授業には参加しました。最近はどここの学校でも公開研究授業が大流行です。そのため、参加者が少なくて困っている学校もあります。同じ町内にある別の高校で公開研究授業がありましたが、校外からの参加者は私の学校から2名だけでした。とても喜んでもらいました。その時研究授業した若い先生とは後から個別にお話をして、「寺島メソッド 英語アクティブ・ラーニング」を購入してもらいました。時間の許す限り参加しました。4校の研究授業を見てきました。

次に、組合員の先生に英語の若い先生を紹介してもらい、直接会いに行って話をする機会を作りました。その時は「寺島メソッド 英語アクティブ・ラーニング」と雑誌「新英語教育」と自作の英語絵本の記号づけプリントを持って行き、雑誌「新英語教育」と自作の英語絵本の記号づけプリントはお土産に置いてきました。

さらには県教委主催の特別活動教育研究会や部活動の大会でも英語の先生とわかれば、すぐに授業の話をして、「寺島メソッド 英語アクティブ・ラーニング」と雑誌「新英語教育」と自作の英語絵本の記号づけプリントを出して、見てもらいました。

4. 次への土台ができた

参加したいと言ってもらった先生が10人を超えました。実際、すでに予定が入っていた方が多かったので、参加申し込みは7人でした。

さらに当日、インフルエンザが猛威を振っていた時期で、お子さんがインフルエンザにかかり、出席できなかった人や、現在では土曜日も授業日になっている学校もあり、また、模擬試験と重なっている人もいて、実際は4人という結果になりました。

それでも「教育講座」2日目に、前日に参加できなかった先生が2名駆けつけてくれました。さらに、当日車の故障で参加できなかった先生が、新年度から常勤講師として本校に来られることになりました。その先生が昨年の教育講座に参加された先生で、記号づけの授業に興味を持っている方だということがわかりました。事務引き継ぎの際に、参加できなかったことを残念がっていました。

この間、「寺島メソッド 英語アクティブ・ラーニング」を4冊購入してもらうことができました。まだ、組合員を増やすまでには至っていませんが、残り2年間続けていき、少しずつ増やしていきたいと思っています。